

三重県における紀伊半島大水害により生じた災害廃棄物処理について

1 災害廃棄物の発生量等

(平成24年6月現在)

市町名	発生量	処理状況
紀宝町	約17,000 t	ほぼ終了 (家屋解体の処理が100件残っている。 さらに今後、輪中堤の復旧工事により、 家屋解体の処理が約1,000 t 発生すると 見込んでいる。)
御浜町	約200 t	処理済 (平成23年10月)
熊野市	約3,900 t	ほぼ終了 (平成24年3月) (家屋解体の処理が、数件残っている。)
大台町	約380 t	処理済 (平成24年1月)
大紀町	約110 t	処理済 (平成23年11月)
計	約21,590 t	—

※市町が国に提出した災害等廃棄物処理事業補助金実績報告書をもとに計算した発生量。

2 災害廃棄物処理の支援

「三重県災害等廃棄物処理応援協定」に基づく応援処理が行われました。

(1) 市町

市町及び一部事務組合(23市町等)からは、9月9日～10月10日の期間で延べ341台(最大19台/日)の収集運搬車両の応援がありました。

<応援市町等>

津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、尾鷲市、鳥羽市、いなべ市、志摩市、伊賀市、木曾岬町、菰野町、多気町、明和町、大台町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、朝日町・川越町組合立環境クリーンセンター、菊狭間環境整備施設組合、香肌奥伊勢資源化広域連合

(2) 廃棄物処理業者

(社)三重県産業廃棄物協会を通じて民間業者(13業者)から、9月10日～10月10日の期間で延べ304台(最大23台/日)の収集運搬車両の応援がありました。

(参考)

① 被害状況

<人的被害>

死者	行方不明者	重傷者	軽傷者
2人	1人	7人	10人

<住家被害>

全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
81棟	1077棟	69棟	702棟	832棟

② 災害廃棄物の処理量等

主な処理量は、次のとおりです。

事業主体	災害廃棄物の 全体量(t)	種類	量(t)	処理先
紀宝町	約 17,000	混合廃棄物	5,700	1 民間事業者 (伊賀市)
		木くず	4,400	3 民間事業者 (紀北町、 紀宝町)
		家電類	230	家電リサイクルルート
		畳	360	1 民間事業者 (いなべ市)、 伊勢広域環境組合、 鈴鹿市、亀山市
		解体廃棄物	5,300	1 民間事業者 (紀宝町)
		タイヤ	70	1 民間事業者 (滋賀県)
		廃油	6	1 民間事業者 (尾鷲市)
		金属くず	450	2 民間事業者 (鈴鹿市、 松阪市)
		可燃ごみ	300	1 民間事業者 (伊賀市)
御浜町	約 200	混合廃棄物	130	1 民間事業者 (伊賀市)
		木くず	20	1 民間事業者 (紀北町)
		金属類	15	1 民間事業者 (熊野市)
		畳	20	紀北町
		家電類	15	家電リサイクルルート

熊野市	約 3,900	混合廃棄物	3,200	2 民間事業者（伊賀市、兵庫県）
		木くず	300	2 民間事業者（紀宝町、御浜町）
		家電類	100	家電リサイクルルート
		金属類	50	1 民間事業者（熊野市）
		畳	100	亀山市
		不燃ごみ	150	1 民間事業者（紀宝町）
大台町	約 380	混合廃棄物	100	1 民間事業者（奈良県）
		木くず	210	1 民間事業者（多気町）
		家電類	5	家電リサイクルルート
		畳・布団	10	多気町
		がれき	40	1 民間事業者（大紀町）
		金属類	5	1 民間事業者（松阪市）
		その他	10	自己処理
大紀町	約 110	混合廃棄物	25	1 民間事業者（伊賀市）
		木くず	10	1 民間事業者（大紀町）
		家電類	5	家電リサイクルルート
		畳・布団	20	桑名広域清掃事業組合
		瓦	5	1 民間事業者（大紀町）
		その他	45	自己処理
合計	約 21,590	—	—	—

(注) ・処理量は見込みを含みます。

・処理量は、災害等廃棄物処理事業費補助金申請書記載の量を丸めた数値になっています。

【参考】 5 市町から聞き取った災害廃棄物の資源化量及び資源化率

	排出量 (t)	資源化量 (t)	資源化率
紀宝町	17,000	11,339	67%
御浜町	200	50	25%
熊野市	3,900	1,015	26%
大台町	380	270	71%
大紀町	110	40	36%
合計	21,590	12,714	59%